

令和 7 年12月12日

令和 7 年第 3 回神奈川県議会定例会

安全安心・未来環境特別委員会資料

目 次

I	「GREEN×EXPO 2027」について	1
1	「GREEN×EXPO 2027」の概要	1
2	「神奈川県出展基本構想」の概要.....	1
3	県出展の準備状況（環境農政局）	2
4	県出展の準備状況（文化スポーツ観光局）	6
5	機運醸成の主な取組	7
II	農林畜水産業の活性化の取組について.....	11
1	農業活性化の取組について	11
2	水産業活性化の取組について	20
3	林業活性化の取組について	24

I 「GREEN×EXPO 2027」について

令和9年に本県で開催される2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」について、県は、開催地の自治体として出展を行うこととし、令和6年10月にとりまとめた「神奈川県出展基本構想」に基づき、準備を進めている。

そこで、「GREEN×EXPO 2027」に向けた県出展の準備状況及び県内における機運醸成の取組状況等について報告する。

1 「GREEN×EXPO 2027」の概要

(1) 開催期間

令和9年3月19日から令和9年9月26日まで（192日間）

(2) 開催場所

旧上瀬谷通信施設（横浜市瀬谷区・旭区）

(3) 博覧会区域の面積

約100ha（うち会場区域 約80ha）

(4) 有料来場者数

1,000万人以上（想定）

(5) 開催主体

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

2 「神奈川県出展基本構想」の概要

(1) 出展のテーマ

ア メインテーマ

“Vibrant INOCHI” 一人ひとりの“いのちが輝く”

イ サブテーマ

(ア) 共生社会の実現

(イ) 持続可能な社会づくり

(ウ) 未病（ME-BYO）の改善

(2) 県出展の構成

ア 屋外展示

庭園を中心にテーマを分かりやすくイメージさせる、印象的なシンボル展示を行う。

イ 屋内展示

屋外展示と連動しながら、県が推進する施策をより深く理解してもらえるよう、展示内容や手法を検討する。

ウ 催事

“Vibrant INOCHI” パフォーマンスを制作・上演するほか、県による主催催事、県内市町村やその他主体による催事を企画・実施する。

3 県出展の準備状況（環境農政局）

(1) 「GREEN×EXPO 2027推進本部」の開催

庁内関係機関相互の緊密な連携を図り、総合的かつ効果的に推進するため、知事を本部長とし、各局長等を構成員とする「GREEN×EXPO 2027推進本部」を開催し、各局の取組状況や県出展、機運醸成の今後の進め方等について共有した。

【開催状況】

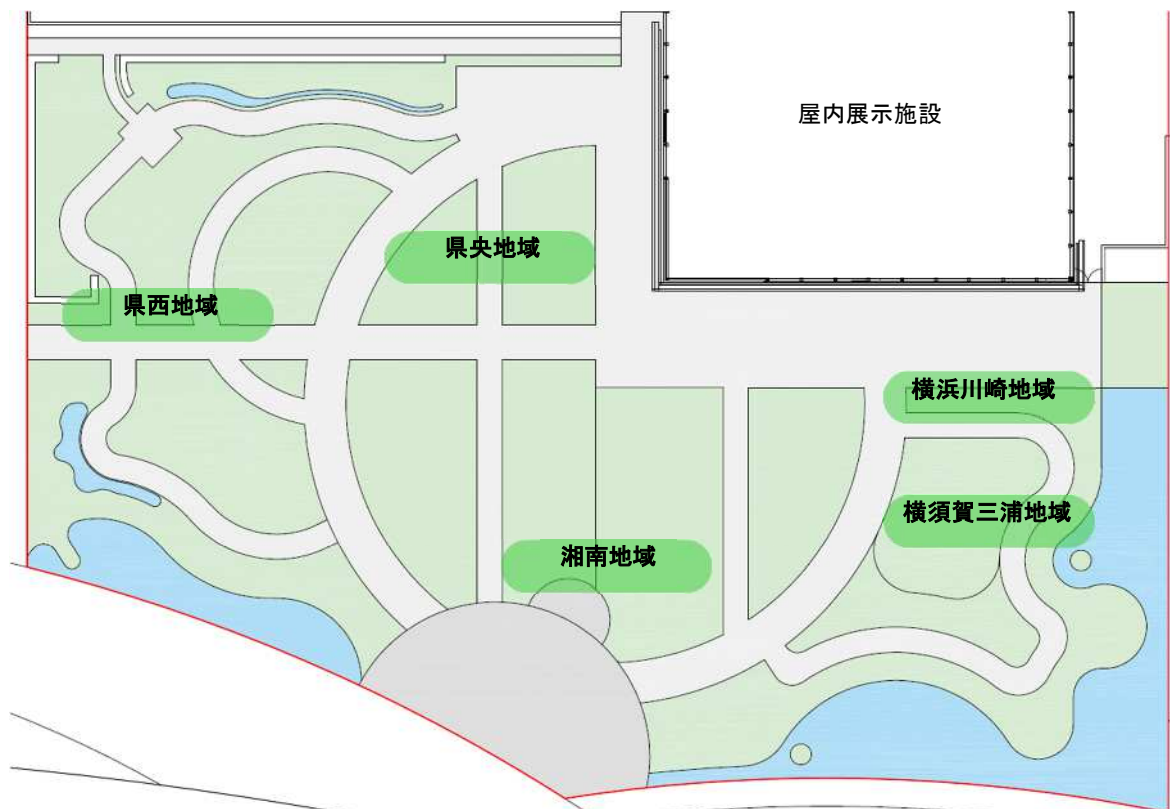
	開催日	内 容
第1回推進本部	令和7年6月9日	各局の取組状況等
第2回推進本部	令和7年9月3日	各局の取組状況等

(2) 屋外庭園（レイアウト）

ア 考え方

県内各地域の特色ある花や緑を植栽し、自然環境を再現することで、豊かで美しい神奈川県土を屋外庭園に落とし込む。

イ レイアウト案



ウ 植栽の規模

(ア) 植物の使用数量（予定）

	分類	品目	本数	備考
樹木	高木	36	約 400	
	低木	27	約 1,200	
苗木	花苗	88	約 71,200	5～9回植替え
	カラーリーフ類	51	約 11,300	

エ 市町村展示の応募状況

県内2自治体から応募あり

(3) 屋内展示

ア 屋内展示施設（外観）

(イ) 考え方

県産木材を格子状に組み、神奈川の海（波）の柔らかな曲線を表現、足元にはミラー素材による壁面を施し、庭園の緑に溶け込むような軽やかなファサードとする。

(イ) 外観イメージ



イ 常設展示

県出展のサブテーマである「共生社会の実現」「持続可能な社会づくり」「未病の改善」を分かりやすく伝える常設展示を設置する。

サブテーマ	コンテンツ案
共生社会の実現	・ 「ともに生きる社会かながわ憲章」 ・ ともいきアート 等
持続可能な社会づくり	・ 脱炭素社会に向けた取組 ・ プラごみゼロに向けた取組 等
未病の改善	・ 未病状態の見える化に関連する商品の紹介 ・ 未病改善レシピ 等

ウ シアター

建物中央部に客席数約60席のシアターを設置し、出展テーマを体感できる映像コンテンツを提供する。

(4) スポット展示

屋内展示施設内に約25㎡の展示スペースを2区画用意し、県や市町村がそれぞれの取組や魅力を発信するためのスポット展示を実施する。

ア 市町村展示の応募状況

県内30自治体から応募あり

(5) 催事

出展テーマを分かりやすく発信し、また、神奈川県魅力をPRするため、県出展エリアに催事スペースを設け、郷土芸能やワークショップ、ダンス等の活動発表など、毎日、様々な催事を実施する。

ア 一般参加催事の募集

(ア) 募集対象

- ・ 県内市町村
- ・ 県内に本店又は支店、営業所を有する事業者
- ・ 県内を拠点として活動する団体

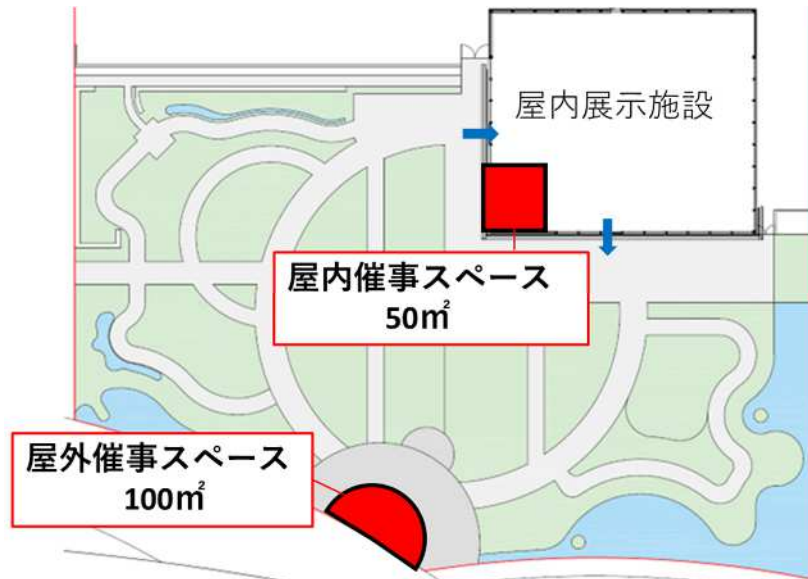
(イ) 募集期間

令和7年12月1日（月）から令和8年1月30日（金）まで

(ウ) 募集する催事の区分

- ・ 共生社会の実現
- ・ 持続可能な社会づくり
- ・ 未病（ME-BYO）の改善
- ・ 神奈川県魅力（自然・文化・産業・人）発信

(エ) 催事実施場所



イ 審査

有識者で構成する審査会にて、評価基準に基づき提出書類を審査し選考を行う。（令和8年2月～3月）

(6) ボランティアの募集

ア ボランティアの種類

(ア) 花・緑ガイドボランティア

（活動内容）来場者に向けて、会場内の花壇等の見どころを紹介
（募集期間）令和7年11月17日（月）から令和8年1月9日（金）まで

(イ) 植物管理ボランティア

（活動内容）会場内花壇等で花がら摘み・除草等サポート
（募集時期）令和8年1月頃

(ウ) 運営ボランティア

（活動内容）会場内外での来場者案内や運営サポート
（募集時期）令和8年1月頃

イ 応募要件

令和9年4月2日時点で満15歳以上の方（中学生を除く）
8日以上活動していただける方

ウ 活動時間

1日当たり4時間程度を想定

(7) 今後のスケジュール（予定）

令和8年1月～3月	基本設計、基盤整備
4月頃～	屋外庭園の造園、屋内展示施設の建築工事
令和9年1月頃～	屋外庭園の植栽、屋内展示の設置・施工
3月19日	開幕

4 県出展の準備状況（文化スポーツ観光局）

(1) オリジナルミュージカル出展事業

ア 概要

(ア) 目的

県出展のメインテーマである“Vibrant INOCHI”を全世界からの来場者に分かりやすく伝えるため、オリジナルミュージカルを制作・上演する。

(イ) 上演形態

a ライブ上演

制作したミュージカルを会場のステージで上演する。

b 映像上映

ミュージカルを映像化して、会場の大型スクリーンで上映する。

(ウ) 上演会場（仮称）主催事場

(エ) 上演日数 開催期間（192日）の半分程度の日数

(オ) 1回あたりの上演時間 30分程度

(カ) 県民参加

ミュージカルのダンスや歌について、手本の動画を制作して、県民が演じる動画作品を広く募集し、応募のあった作品をミュージカル内で活用することにより、ミュージカルへの県民参加を図る。

イ 今後のスケジュール（予定）

令和7年9月～12月頃	脚本制作
12月頃～令和8年秋	音楽、美術、振付制作 出演者決定（オーディション等）
令和8年秋～	稽古 ミュージカル映像制作
令和9年3月19日	開幕

5 機運醸成の主な取組

(1) 「GREEN×EXPO 2027応援団」による機運醸成

本県にゆかりのある著名人や団体を中心に「GREEN×EXPO 2027応援団」を結成し、イベント等でPRを実施。（令和7年11月19日に追加メンバー5名を任命し、計29名、9団体）

氏名、団体名	実施日	イベント名等
結成時	令和6年9月制作	応援メッセージ動画
田崎 日加理	令和6年10月10日	パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会 神奈川県祝賀会
橋本 はづき	令和6年10月25日	全国高校生花いけバトル 神奈川大会 2024 練習会
金子 桃 ほか2名	令和6年12月15日	全国高校生花いけバトル 神奈川大会 2024
かながわ緑の大使	令和7年5月3日	県庁本庁舎一般公開
白井 貴子	令和7年5月4日	横浜フラワー&ガーデン フェスティバル2025
熊本 マリ	令和7年5月25日	かながわパフオマ開放区 ピアノコンサート
八田 幸子	令和7年6月21日	全国高校生花いけバトル 神奈川大会 2025 練習会
石塚 英彦	令和7年9月14日	全国高校生花いけバトル 神奈川大会 2025
小林 涼子	令和7年9月14日	ベトナムフェスタin神奈川 2025
湘南ベルマーレ フットサルクラブ	令和7年10月26日	CAMPLUGGED Vol.8
ガールスカウト 神奈川県連盟	令和7年10月26日	CAMPLUGGED Vol.8

(2) 県主催（共催）イベント、県有施設等による機運醸成

ア 県主催（共催）イベント等

イベント名等	実施日	内容
県庁本庁舎一般公開	令和6年5月3日	PRブース
	令和7年5月3日	スタンプラリー等
緑の祭典2024inさがみはら	令和6年5月26日	PRブース

ベトナムフェスタ in 神奈川 2024	令和 6 年 9 月 7 日 8 日	PRブース
神奈川県花き展覧会	令和 6 年11月23日 24日	PRブース フォトスポット
東京2025デフリンピック 1 年前 イベントin かながわ	令和 6 年11月30日	PRブース
農業技術センター施設公開	令和 7 年 4 月19日	PRブース スタンプラリー等
関東甲信越 1 都 9 県議会議長会	令和 7 年 8 月26日	PRブース
第182回全国都道府県議会議長 会定例総会	令和 7 年10月30日	PRブース
かながわ農業アカデミー 秋のまつり	令和 7 年11月 1 日	PRブース
第 3 回かながわ木づかいフェア	令和 7 年11月15日 16日	PRブース

イ 県有施設を活用した機運醸成

施 設 名	内 容
花菜ガーデン	フォトスポット設置
大船フラワーセンター	フォトスポット設置、花壇植付け
大磯城山公園	ざる菊展、スタンプラリー (R7)
おだわら諏訪の原公園	花壇植付け (R7)
恩賜箱根公園	初夏のバラ展 (R7)
観音崎公園	チューリップ植付け (R7)
境川遊水地公園	寄せ植え体験 (R7)
相模三川公園	寄せ植え体験 (R7)
相模原公園	寄せ植え体験 (R6、R7)
四季の森公園	壁面花壇花植え体験 (R6、R7)
茅ヶ崎里山公園	寄せ植えワークショップ (R6) 、 園内花壇花植え・球根植付け (R7)
津久井湖城山公園	寄せ植え体験、 フォトスポットづくり (R7)
辻堂海浜公園	たねダンゴ植付け体験 (R7)
秦野戸川公園	チューリップ植付け (R6、R7)
保土ヶ谷公園	チューリップ植付け (R7)

三ツ池公園	花植え体験（R7）
神奈川県民センター	カウントダウンボード設置
あーすぷらざほか35か所	GREEN×EXPO 2027のぼり旗設置

ウ 子どもを対象とした花育イベント

実施場所	実施日	内 容
県庁(庁舎公開)	令和6年5月3日	フラワーアレンジメント
	令和7年5月3日	
茅ヶ崎里山公園	令和6年5月19日	たねダンゴ教室
生田緑地	令和6年12月14日	クリスマスリース作り
横浜南部市場	令和6年12月26日	洋花アレンジメント
大和市シリウス	令和7年3月23日	フラワーアレンジメント
ビオトピア (CAMPLUGGED Vol.8)	令和7年10月26日	植物クイズ、 花苗プレゼント
おだわら市民交流 センターUMECO	令和7年11月2日	季節の生け花体験

(3) 市町村、団体等と連携した機運醸成

イベント名等	実施日	内 容
開成町あじさいまつり	令和6年6月15日～16日	PRブース
	令和7年6月7日～8日	
小田原フラワーガーデン	年8回以上	モスボール づくり
	年2回以上	花壇植栽
ローズフェスタ2025（綾瀬市）	令和7年5月24日	PRブース
神奈川再発見！フェア	令和7年10月11日～13日	PRブース
第47回逗子市民まつり	令和7年10月12日	PRブース
CAMPLUGGED Vol.8	令和7年10月26日	PRブース スタンプラリー
カーニバル湘南 2025	令和7年11月1日～3日	PRブース
名水サミットinはだの	令和7年11月8日	PRブース
横浜 STEAM EXPO 2025	令和7年11月8日・9日	PRブース

(4) 多様な主体と連携した機運醸成

- ア 全国都市緑化かわさきフェアにおける花壇、モニュメントの出展
(国際園芸博覧会協会、横浜市との共同出展)
- ・ 秋開催 (令和6年10月19日～11月17日：30日間)
 - ・ 春開催 (令和7年3月22日～4月13日：23日間)
- イ 全国高校生花いけバトル神奈川大会2025～青春輝け！GREEN×EXPO 2027への扉～の開催 (令和7年9月14日)
- ウ 「かながわの花展」(サテライト展示)における県内花き生産者団体によるPR (令和7年10月～令和8年1月、県内11市町村)
- エ 花壇用応援看板等の配布
令和6年度：県内50団体(自治会等)に花壇用応援看板を配布
令和7年度：県内80団体(幼稚園、保育園、小中学校、市民団体等)に花苗、花壇用応援看板を配布

(5) メディアを活用した機運醸成

番組名等	放送(放映)日
LIGHT UP KANAGAWA (FMヨコハマ)	令和6年5月9日
	令和7年5月1日
	令和7年9月18日
カナフルTV (TVK)	令和6年11月3日
KANAGAWA Muffin (FMヨコハマ)	令和7年9月6日
デジタルサイネージ等(ミナカ小田原ほか 22か所)におけるPR動画放映	令和6年6月～ 令和7年6月

(6) 絵本を活用した機運醸成

子どもたちを中心とした幅広い世代に、県出展のメインテーマでもある“Vibrant INOCHI”を分かりやすく伝えられるよう絵本を制作し、機運醸成につなげる。(令和7年度末完成予定)

(7) その他の機運醸成

- ア 「第2回かながわともいきアート展」(令和7年11月1日～9日)において、「GREEN×EXPO 2027賞」を創設
- イ 川崎競馬場において、「GREEN×EXPO 2027賞」として、協賛レースを実施(令和7年11月17日)

Ⅱ 農林畜水産業の活性化の取組について

1 農業活性化の取組について

(1) 生産性の向上と担い手の育成・確保

ア 多様な担い手の育成・確保及び経営発展段階に応じた支援

(ア) 多様な担い手の育成・確保

地域の農業生産や必要な農地を確保するため、新規就農者の確保・定着の取組を推進するとともに、女性の農業進出や小規模経営体の農業生産の継続、農福連携の取組等を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・新規就農者数 127 人
- ・新規就農希望者等に対し面談等による就農相談（相談者数 193 人、30 法人）
- ・経営発展を目指す女性農業者を対象とした「かながわなでしこ farmers' college」の開催（4 日間・2 回、19 人修了）
- ・女性農業者の経営発展に必要な新商品の試作費用や機械等の導入や、オリジナルロゴのデザイン委託に対する支援（11 件）
- ・かながわ農業アカデミーにおいて、障害福祉サービス事業所職員向けの農作業体験研修の開催（3 日間・1 回、10 人受講）



かながわなでしこ farmers' college



オリジナルロゴのデザイン委託による販路拡大と売上額向上

(イ) 経営発展段階に応じた支援

農業生産の中核を担う経営感覚に優れた経営体を確保するため、就農初期から経営発展段階に応じた研修会や巡回指導を行う。

＜令和6年度実績＞

- ・新規就農者を対象とした基礎セミナーの開催（受講者 101 人、巡回指導延べ 757 回、集合研修 51 回）
- ・基礎セミナー修了者を対象とした経営発展のためのステップアップセミナーの開催（集合研修 14 回）

- (ウ) 生産性の向上などを図るために必要な機械・施設等の整備促進
県産農産物の生産の拡大や生産性の向上のため、生産施設等の整備を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・トップ経営体を目指す農業者への支援
(トマト施設整備(1件)、トラクター(1件))
- ・飼料作物の作付けや飼料調製に必要な機械整備に対する補助
(トラクター・フロントローダー+バケット・ハイダンプワゴン1件)(再掲)

イ 農畜産物の生産の拡大や産地の強化に向けた支援

(ア) スマート農業の推進(耕種)

地域の優れた生産技術を基に、本県農業に適したスマート農業を展開し、生産の拡大や産地の強化に取り組む。

＜令和6年度実績＞

- ・スマート技術の導入経営体数(耕種) 275 経営体
- ・スマート機器の導入に対する補助(温室の環境制御装置、直進アシストトラクター、ドローン等 17 件)

(イ) スマート農業の推進(畜産)

生産性の向上を図るため、畜産分野におけるスマート技術等の導入を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・スマート技術の導入経営体数(畜産) 69 経営体
- ・スマート技術導入の実績や効果を分析し、導入意向のある畜産農家に対して経営規模等に見合った機器等を紹介

(ウ) 生産資材価格の高騰対策など経営安定に向けた支援

経営安定のために、燃油や飼料等の価格高騰に対して支援する。
また、飼料生産基盤を強化するとともに、県産畜産物の生産性や収益性の向上を図る。

＜令和6年度実績＞

- ・燃油の価格高騰対策として、施設園芸セーフティネット構築事業への加入促進を図るため、生産者積立金に対する補助(基準価格からの高騰分の $1/4$ 、農業者負担分の $1/2$ 以内 18 団体の 177 名)
- ・生産資材の価格高騰対策として、施設園芸セーフティネット構築事業への加入者を対象として、栽培施設の省エネルギー化を図るために必要な資材等の購入に対する補助(補助率 $1/2$ 以

内 51 名)

- ・畜産農家の飼料購入費の負担増に対する補助（補助率 1 / 2 以内 酪農家 98 件、肉用牛飼養農家 32 件）

ウ 新品種の育成や新技術の開発及び生産現場への普及

(ア) 新品種の育成と普及

かながわ特産品の開発等により地域農業を活性化するため、県オリジナル品種の育成や普及に取り組む。

<令和 6 年度実績>

- ・春咲き性のスイートピー新品種「春かなピンク」を育成（令和 6 年 7 月 22 日品種登録出願）
- ・イチゴ品種「かなこまち」を安定生産するための栽培管理技術や環境制御技術の開発



スイートピー新品種「春かなピンク」

(イ) 高品質・安定生産技術等の開発と普及

ロボット等による省力・軽労化技術など、本県に適した技術の開発と普及に取り組む。

<令和 6 年度実績>

- ・ナシ園におけるジョイント V 字トレリス樹形を生かした低騒音・少飛散型の農薬散布自動防除技術の検討
- ・環境制御による端境期の施設トマト生産技術の開発
- ・O P U（経膈採卵）を用いた効率的な後継牛確保や、多産系種豚を利用した改良型種豚の頒布等による生産基盤の強化



ジョイントV字トレリス樹形を生かした農薬散布



端境期の施設トマト生産技術

エ 畜産経営の体質強化に向けた総合的な支援

持続可能な畜産業を実現するため、生産性や収益性の向上、都市環境との調和等に取り組む。

<令和6年度実績>

- ・国産飼料を活用するために必要な経費に対する支援（1事業者）
- ・水田を活用した飼料確保に対する奨励金（8事業者）
- ・飼料作物の作付けや飼料調製に必要な機械整備に対する補助（トラクター・フロントローダー＋バケット・ハイダンプワゴン 1件）（本掲）
- ・エコフィードマッチングシステムの運営（本掲）

オ 農業生産基盤の整備と農地集積の促進及び農地の有効活用

認定農業者等の中核的経営体への農地集積に資するよう、今後の地域農業を見据えた生産基盤の整備を推進する。

<令和6年度実績>

- ・市町村の地域計画策定に向けた取組を支援するため、地域別意見交換会（5地域）や、国庫補助事業の活用支援（16市町）などを実施
- ・市町村等への農地中間管理機構の事業推進方針等説明（2回）の実施
- ・荒廃農地を復旧し、中間管理権を活用した農地の集積により飼料生産基盤の整備を実施（4市町、2.4ha）
- ・担い手への中間管理権設定を条件とした荒廃農地の簡易な基盤整備を実施（2市、0.9ha）
- ・水田の区画整理の付帯工事の実施、新規予定地区内の市町村との打合せや指導、農家との意見交換会（38回）及び事業計画書作成等（2地区、千代地区他）の実施
- ・広域農道など基幹的な農道の整備（1地区、小田原湯河原線）
- ・農業用施設の強靱化のための調査、補修・補強及び改修等の実

施（5地区、磯部地区他）

- ・市町等が事業主体となる生産基盤整備事業の支援（22市町等、農道整備、水路改修等）

整備前



整備後



老朽化した水門扉体及び巻き上げ機の更新（機能保全対策工事：磯部地区（相模原市））

カ 災害等のリスク対策の取組強化

（ア）自然災害へのリスク対策

農業用施設の防災・減災対策や農業保険などセーフティネットの加入促進など、災害への備えを進めるとともに、農地・農業用施設に被害が生じた場合は、補助事業等により復旧を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・農業版事業継続計画（BCP）を神奈川県施設野菜組合連合会及び神奈川県農業経営士協会の会合において周知
- ・神奈川県農業共済組合とともに農業保険制度を周知
- ・基幹的農業用取水施設や水路、取水門等の農業用インフラの防災・減災対策を実施（5地区、大城地区他）
- ・台風10号災害について、市町村に対する農地・農業用施設の災害復旧への技術支援や国の補助事業等による復旧に向けた災害査定等を支援（7市町、農地・農業用施設の復旧）



農道被災状況（伊勢原市善波）



農地被災状況（秦野市菩提）

(イ) 家畜伝染病発生予防の取組

健康な家畜及び安全な畜産物を生産するため、高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生予防やまん延防止、動物用医薬品及び飼料の適切な使用を推進する。

＜令和6年度実績＞

- ・家畜伝染性疾病の発生予防やまん延防止のための検査・指導を実施（5,551件）
- ・動物用医薬品の流通段階における管理状況及び品質検査を実施（立入検査49件、品質検査2件）
- ・飼料販売業者等を対象とした立入検査を実施（7件）（本掲）

(2) 新鮮で安全・安心な魅力ある農畜産物の利用拡大

ア 農畜産物のブランド力の強化や付加価値向上の支援

(ア) ブランド力向上の取組

県産農畜産物の認知度を高め、利用拡大を図ることにより、県産農畜産物のブランド力を高め、販路拡大を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・かながわブランドの認知度（71.7%）
- ・かながわブランド新規登録2件
- ・かながわブランドキャラバン等の実施（11件）
- ・かながわ農林水産品マッチング商談会の開催（1回）（本掲）
- ・ホームページ「かなさんの畑」の運営



かながわブランド新規登録
湘南ちがさき MILK



かながわブランド新規登録
湘南伊勢原のさかもとのたまご

(イ) 畜産物の出口戦略

県産畜産物の評価を高め、販路拡大につなげるため、流通・販売・消費面からのアプローチによる「出口戦略」を推進する。

<令和6年度実績>

- ・販路拡大などの成果があった畜産物のブランド数5件
- ・県内畜産農家に対する理解醸成を図るための小学生向け畜産PR動画制作や、食育・イベント等での活用（本掲）
- ・「かながわ畜産の日」記念イベントや「牛乳の日 in 花菜ガーデン」等のイベントを通じて県内畜産業と県産畜産物をPRし、畜産に関する理解醸成を図る（本掲）



小学生向け畜産PR動画



牛乳のイベント in 花菜ガーデン

(ウ) 6次産業化の取組支援

新たな付加価値を生み出すため、農産加工や観光農業、食品関連事業者との連携等の取組を支援する。

<令和6年度実績>

- ・農山漁村発イノベーションサポートセンターの運営委託（電話相談 98 回、支援対象者の選定 4 経営体及び専門家派遣 25 回）
- ・6次産業化等に取り組むための研修会を実施（講義8回、実習3回）

イ ニーズの変化等に対応した流通・販売対策の支援

新鮮で安全・安心な県産農畜産物を供給するため、販路拡大や社会情勢の変化に対応した販売促進等に取り組む。

<令和6年度実績>

- ・かながわ農林水産品マッチング商談会の開催（1回）（再掲）
- ・県内畜産農家に対する理解醸成を図るための小学生向け畜産PR動画制作や、食育・イベント等での活用（再掲）
- ・「かながわ畜産の日」記念イベントや「牛乳の日 in 花菜ガーデン」等のイベントを通じて県内畜産業と県産畜産物をPRし、畜産に関する理解醸成を図る（再掲）

ウ 農畜産物の安全・安心の推進

農畜産物の安全・安心確保のため、農薬安全対策やGAP、農場HACCPの取組を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・GAPの取組の高度化を図るための研修会（1回）の開催
- ・農薬管理指導士の認定養成研修（21名受講、19名認定）や、更新研修（270名受講）の開催
- ・農場HACCP認証取得済み農場におけるシステム維持・向上のための現地指導・支援（6戸）
- ・飼料販売業者等を対象とした立入検査の実施（7件）（再掲）

(3) 環境に配慮した農業の推進と生産環境の保全

ア 環境に配慮した農業の推進

環境に配慮した農業を実現するため、有機農業を含む環境保全型農業や未利用資源を活用した農業生産を着実に推進するとともに、省エネ対策等を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・「神奈川県環境負荷低減事業活動実施計画認定要領」（令和5年12月策定）に基づき、93名の農業者の実施計画を認定
- ・有機農業者のほ場見学会（1回）、有機農業に関する必要な知識・技術を習得するための研修会（1回）の開催
- ・環境にやさしい栽培技術と省力化に資する技術を組み合わせたグリーンな栽培体系への転換の支援（1団体）
- ・エコフィードマッチングシステムの運営（再掲）



有機農業者のほ場見学会

イ 農地等の活用・保全

農地を適正に保全するため、農業生産活動を維持・向上させる地域ぐるみの共同活動への支援や農地の活用を促進する。

<令和6年度実績>

- ・多面的機能支払事業等を行う活動団体への支援（15市町、31団体、8集落）
- ・かながわ農業サポーターの認定（19人）や、サポーターへの貸出による耕作放棄地の解消（0.9ha）
- ・かながわホームファーマー農園の開設（5市町、2.9ha）
- ・オレンジホームファーマー農園の開設（2市町、0.5ha）
- ・団体が行う里地里山の保全活動への支援（9市町、24団体）



地域ぐるみで実施する水路の一斉清掃



かながわホームファーマー農園

ウ 農業の有する多面的機能等への県民の理解促進

本県農業が県民の身近で営まれるメリットを生かし、子どもたちをはじめとした県民の農業への理解を図るとともに、農業者と県民とが触れ合える場所や機会の確保等に取り組む。

<令和6年度実績>

- ・県立花と緑のふれあいセンターでの「収穫体験プログラム」や「田植え・稲刈り体験」を実施（実施回数：110回、参加者数：1,121人（大人723人、子ども398人））
- ・県立高校で出前講座（かながわの都市農業の推進、神奈川県育成品種とその特性）を実施（横須賀市1回）
- ・農業農村の有する多面的機能に関する子どもたちへの理解促進活動の開催（相模原市1回、海老名市1回、茅ヶ崎市1回、伊勢原市1回、小田原市1回）
- ・市民農園の開設に係る事前相談への対応



稲刈り体験の様子



農業農村の多面的機能に関する理解促進活動

エ 鳥獣被害対策の推進

農作物被害を軽減し、農業生産活動を継続するために、地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策等を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・かながわ鳥獣被害対策支援センターにおいて、市町村とともに、農協や自治会など多様な主体と連携した対策の立ち上げを支援
- ・地域の鳥獣被害対策に係わる者を対象に、地域ぐるみの対策について研修を実施

2 水産業活性化の取組について

(1) 県産水産物の安定供給・消費促進と地域の活性化

ア 養殖業の振興による新たな生産手段の創出

県産水産物の安定供給と漁業者の所得向上を図るため、本県各地域の特性に適した養殖の技術開発に取り組み、事業化と普及を推進する。

＜令和6年度実績＞

- ・マサバの海面養殖試験を8月から2月まで実施し、出荷サイズまで育成
- ・トラウトサーモンの海面養殖試験を12月から実施（5月まで育成）

イ 地域の特色を活かした県産水産物の付加価値向上への支援

県産水産物の安定供給・消費促進を図るため、地域の特色を活かした県産水産物を利用した特産品や加工品の開発による水産物の付加価値向上を支援するとともに、幅広い世代を対象とした知名度向上と販売促進に取り組む。

＜令和6年度実績＞

- ・三崎のカジキのすり身と県内産小松菜を使用した揚げかまぼこ「湘南七夕揚げ」を平塚市内の蒲鉾店と共同開発し、製品化
- ・三崎のマグロ・カジキの血合肉を活用した飲食店メニューの開発と、品質保持のための認証制度創設・運用を支援
- ・県産水産物を紹介するパンフレットの作成、大規模小売店と連携したPRイベントの開催

ウ 生産・流通の拠点となる漁港施設の維持・強化と防災・減災対策の推進

県産水産物の安定供給と漁業者の所得向上を図るため、生産・流通の拠点となる漁港施設の維持・強化及び防災・減災対策、並びに本県の沿岸漁業で最も漁獲量が多い定置網漁業の防災・減災対策を推進する。

<令和6年度実績>

- ・三崎漁港の城ヶ島大橋・北条小橋・城ヶ島2号物揚場の機能保全工事による老朽化対策
- ・小田原漁港の耐震強化岸壁泊地等の機能保全工事による漁港機能の維持
- ・市町が取り組む整備事業に対する補助（長井漁港、佐島漁港、鎌倉漁港）
- ・市町が取り組む老朽化対策事業に対する技術的支援（長井漁港、佐島漁港、平塚漁港、片瀬漁港、茅ヶ崎漁港、岩漁港）
- ・潮流による定置網の挙動を再現したコンピューターシミュレーションの実施及び精度の向上を図るため現場データとの照合
- ・空中ドローンによる、相模湾の定置網（6ヶ所）の設置状況の調査

エ 海業等による海・川・湖や漁村の魅力を活かした地域の活性化の取組

地域の関係者と連携して、海業等による海・川・湖や漁村の魅力を活かした地域の活性化の取組を推進し、漁業者の所得向上を図る。

<令和6年度実績>

- ・本県に適した海業のビジネスモデルを創出する事業を県内3ヶ所で実施
- ・本県の海業に活用できる地域の海や漁村の魅力の掘り起こし事業を実施

(2) 漁場環境の回復と資源管理の着実な実施等による水産資源の持続的な利用

ア 漁業者や県民等と連携した藻場の再生・造成等による漁場環境の回復

漁場の生産力の回復を図るため、漁業者や県民等と連携して藻場の再生や貧酸素水塊の水質調査等、漁場環境の回復に取り組む。

<令和6年度実績>

- ・大量生産を開始した早熟性カジメの種苗を使い、相模湾沿岸全体で藻場造成の取組を実施（5.8ヘクタール）

- ・藻場造成の方法等の普及啓発のため、漁協・漁業者等を対象とした藻場造成対策説明会（2回）を開催
- ・企業からの寄附を活用した「ブルーカーボン・海の森創出事業」による早熟性カジメ種苗によるカジメ畑を設置（1箇所：50m×50m）
- ・漁場選択等で活用される貧酸素水塊の発生状況の把握及び漁業者へ情報提供（14回）

イ 水産資源の持続的な利用のための資源管理の着実な実施

水産資源の回復と持続的な利用を図るため、資源の動向を継続的に把握し、科学的知見に基づき漁業者が主体となって取り組む資源管理を推進する。

<令和6年度実績>

- ・調査船による生態調査、市場における水揚げ物の調査、漁獲データの集計等による県内の主要19魚種の資源量の調査解析
- ・漁業者が策定した資源管理協定3件の効果検証や資源管理方策等の助言

ウ 海洋環境の変化等に対応した栽培漁業の推進

持続的な水産資源の利用を図るため、海洋環境の変化に対応し、本県各地域の海に適した新たな魚種の種苗生産・放流技術を確立することにより、栽培漁業を推進する。

<令和6年度実績>

- ・東京湾産の親魚を用いたトラフグの種苗生産に取り組み、回収率が高く、経済効率も高いとされている大型種苗（全長7cm、約15,000尾）の生産に成功



東京湾産のトラフグの親魚（雌）



排卵された未受精卵（直径約1mm）

エ 川・湖の漁場環境の保全・再生と内水面資源の増殖の推進

(ア) 川・湖の漁場環境の保全・再生

内水面の漁場環境の保全・再生を図るため、河川管理者などの関

係者と連携して、より良い漁場づくりの取組を推進する。

＜令和6年度実績＞

- ・河川管理者との情報交換の場におけるより良い漁場づくりに関する講義（年2回）と、河川管理者が行う環境調査に対する指導・助言（年10回）の実施

（イ）内水面資源の増殖の推進

内水面資源の回復を図るため、放流用種苗の安定的な供給や、効果的な増殖技術の開発を進めるとともに、魚類の食害の防止措置への支援や、魚病対策などに取り組む。

＜令和6年度実績＞

- ・アユの安定的な採卵技術開発に取り組み、放流用種苗を4トン供給
- ・漁業者等が行うコクチバス等の外来魚駆除やカワウ被害防除に対する指導・助言（年8回）の実施
- ・養殖場や河川で発生した魚病の診断と対応指導（年22回）の実施



水産技術センター内水面試験場のアユ親魚生産室

（3）担い手の確保・育成と漁業経営の安定

ア 生き生きと活躍できる担い手の確保と育成

漁業分野で活躍できる人材の確保と定着を図るため、漁業所得の向上や漁業に関する新しい技術の習得等に向けた支援を行うとともに、漁業に継続して従事できる環境づくりを推進する。

＜令和6年度実績＞

- ・漁業者等を講師とした漁業就業セミナー（2回）及び漁業体験研修（2回）の開催
- ・漁業協同組合等を対象とした漁業の所得向上を目的としたセミナー（4回）の開催及び小型船舶操縦士免許等の資格取得支援（7回）

イ 漁業所得の安定・向上に向けた漁業者への支援

国の補助事業等の支援制度を活用するとともに、関係機関と連携し

て漁業者の所得向上の取組を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・制度資金の融資実績（沿岸漁業改善資金1件、漁業近代化資金7件）
- ・漁業共済制度の加入実績206件
- ・漁業者等による漁業所得の向上を目標としたプラン1件について、策定に向けた取組を推進

ウ 省力化・効率化のためのスマート水産業の推進

漁業現場の省力化・効率化や就労環境の改善を図るため、ICTやドローン等の技術の活用を推進する。

＜令和6年度実績＞

- ・水中カメラ映像のAIによる魚種判別や魚探映像からの漁獲量の推定など画像解析技術の開発
- ・定置網に設置するカメラの耐水性・耐久性の向上や安定運用に向けた改良等の試験の実施

エ 漁業協同組合の経営基盤の強化

漁業協同組合の合併を推進するとともに、漁業生産施設の整備や、経営改善に向けた取組を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・県西地域の漁協に対して県漁連と連携して勉強会（2回）を開催
- ・県が推進する漁協合併に対するインセンティブとして、広域合併を行った1漁協（4支所）に対し、インターネット通信網や冷凍・冷蔵設備などの広域流通に必要となる整備への補助を実施し、経営基盤を強化

3 林業活性化の取組について

(1) 県産木材の有効活用の促進

ア 間伐材の搬出促進

水源の森林づくり事業等の森林整備に伴って発生する間伐材等を有効利用することにより、持続的な森林整備を促進し、水源かん養など公益的機能の高い良好な森林づくりを進めるため、間伐材の集材、搬出及び運搬に要する経費の支援を実施する。

＜令和6年度実績＞

- ・間伐材の搬出に対する補助（28,477 m³）



間伐材搬出の様子（湯河原町宮上）

イ 県産木材を利用した木造施設等整備の支援

県民に幅広く県産木材をPRし、県産木材の利用拡大を図るため、木造施設の整備に対して支援を行う。

(ア) 公共木造施設等整備への支援

公共性の高い庁舎や学校、社会福祉施設等における木造施設整備及び木質化を支援する。

＜令和6年度実績＞

- ・木造施設整備に対する補助（1件）



山北町立生涯スポーツセンター

(イ) 民間木造施設整備への支援

木造施設の建築等により抑制される炭素排出量及び使用する木材に固定（吸収）されている炭素量の価値に対して補助する。

＜令和6年度実績＞

- ・木造施設の建築等に対する補助（一戸建住宅等90件）

(2) 森林づくりを支える人材の確保、育成

水源の森林づくり事業などの森林整備量の増大や林業労働者の高齢化に対応した林業労働力の量的確保と、多彩な森林づくりや間伐材の搬出促進に対応した林業労働力の質的確保が必要となっている。

そこで、平成21年度にかながわ森林塾を開校し、新規就業希望者から既就業者までを対象に、担い手育成の研修を体系的に進めている。

令和6年度は、就業希望者向けのコースを8名が修了し、このうち5名が認定林業事業体へ就職しているほか、既就業者向けのコースも5名が修了している。

ア かながわ森林塾の概要

(ア) 就業希望者向け（就業意識の明確化、基礎技術の習得）

a 森林体験コース

森林・林業に関する体験実習、座学

b 演習林実習コース

演習林（水源林等）での現場研修、座学

(イ) 既就業者向け

a 素材生産技術コース 中堅技術者

（既就職者 3年目～）

間伐材伐木、造材、搬出技術の現場研修、座学

b 流域森林管理士コース 上級技術者

（既就職者 5年目～）

森林・林業に関する実技講習、座学、資格取得のための技能講習

(ウ) 他業種からの新規参入の促進（森林整備業務における技術水準の確保）

a 森林整備基本研修（令和5年度から休止）

森林・林業に関する体験実習、座学

イ これまでの実績

年度 コース名	修了者数							うち 新規 就労 者数
	H21～ R1	R2	R3	R4	R5	R6	計	
森林体験コース	267人	20人	20人	26人	16人	14人	363人	163人
演習林実習コース	168人	15人	13人	14人	10人	8人	228人	
素材生産技術コース	82人	5人	0人※1	4人	0人※1	0人※1	91人	—
流域森林管理士コース	74人	7人	4人	8人	3人	5人	101人	—
森林整備基本研修	344人	0人※2	11人	21人	—※3	—※3	376人	—

※1 受講希望者が少なく実施せず

※2 新型コロナ拡大で緊急事態宣言が発出されたため中止

※3 造園業者等の受講の減少のため令和5年度から休止